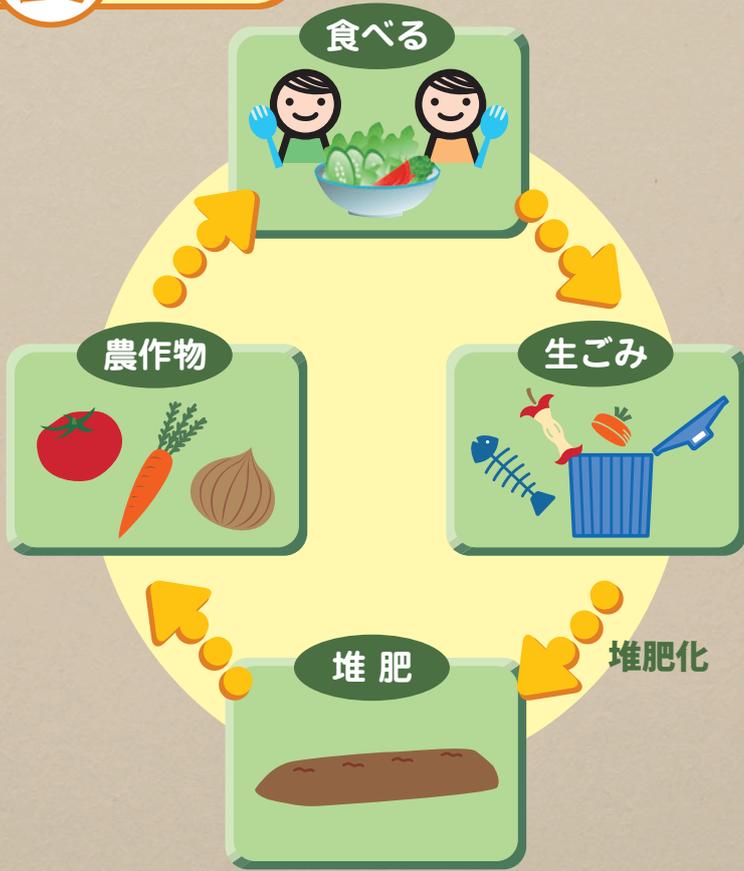


# 食の循環



## 家庭での取組み



「生ごみの堆肥化」は生ごみを資源として、有効活用する方法のひとつです。「生ごみの堆肥」で野菜を育て、また私たちが食べるという流れは「食の循環」をつくりあげています。しかし、資源として再利用されている生ごみは、全体の量から見れば、まだ一部にすぎません。

家庭系ごみの約半分(重量比)が生ごみであることを考えると、各家庭から排出される生ごみの量を「まず減ら

す」ということが大切です。

私たちの家庭から排出された生ごみは収集された後、焼却され、埋め立てられています。特に水分を多く含む生ごみを焼却するには、多大なエネルギーが必要になり、CO<sub>2</sub>排出量の増加など、環境の負荷が生じます。

生ごみの中に含まれるものの多くは「調理くず」や「未利用食品」などです。

普段、捨ててしまっている野菜くずも調理方法を工夫することで、立派な食材になります。また、買い物に行くときは事前に献立を決めておき、必要な食材を必要な量だけ買うようにします。そうすれば、不要な物を買ってごみにすることはありません。

今では食べ物の種類や量が豊富にあるために、何気なく食事を残したり、捨てたりしてしまいがちです。食べ物をごみにするということは、食べ物で作られる過程で消費したお金・手間・時間などをごみにすることになります。

生ごみは各家庭でのちょっとした意識の積み重ねにより、「ごみ」になることを防ぐことができるのではないのでしょうか。

### 美しく国おこし・三重 パートナーグループ

### 生ごみ堆肥化に取り組む団体のご紹介



明和町  
「竹の都・明和」農業生産研究会

自然循環資材の再生利用や生ゴミ堆肥製造・有効利用により、農地の土壌改良やそこで栽培した有機農作物の販路拡大を通じて、まちおこしを進めます。



東員町  
NPO法人 生ごみリサイクル思考の会

「ごみゼロ社会の実現」をミッションとし、地域のゴミ減量の活動を行っています。住民の環境への関心を高めることを目的に、環境啓発、情報発信等の場として「エコの館」を設置、運営しており、その集聚力を高める仕組みづくりを行います。

### 美しく国おこし・三重

「美しく国おこし・三重」は、「文化力」を生かして、その地域ならではの埋れた魅力の再発見、磨きあげを行うとともに、県内各地で展開される地域づくり、まちづくりの取組をさらに加速させ、自立・持続可能な地域づくりにつなげていくことを目的としています。

美しく国おこし・三重 実行委員会事務局  
URL  
<http://www.pref.mie.jp/UMASHI/HP/>

今回、取材したNPO法人「生ごみリサイクル 亀さんの家」がパートナーグループに登録している「美しく国おこし・三重」とは…



美しく国おこし・三重 マスコットキャラクター